

小郡市児童家庭相談システム 機能要件一覧

様式第8号

プルダウンによる選択方式になっています。◎、○、△、×を選択してください。□

◎：パッケージ標準機能で対応可（パラメタ設定で対応できる範囲も含む）

○：カスタマイズで対応可

△：代替案または運用回避等で対応可

×：対応不可（パッケージ根幹の修正等により対応できないもの）

○を選択された場合には、その機能のカスタマイズに係る金額をカスタマイズ費用欄に、カスタマイズが必要となる機能や内容を備考欄に記載ください。

また、△を選択された場合には、備考欄に代替案または運用回避案の説明を記載ください。

No.	分類	機能概要	重要度	提案者記入欄		
				対応方法	カスタマイズ費用	備考
1	システム要件	サーバーのデータベース、ミドルウェア等は端末追加時に追加のライセンス費用が発生しないようにオープンソースの技術を用いて構築されていること。	高			
2	システム要件	クライアント端末にソフトウェアをインストールすることなく利用可能な、Webシステムで構築されていること。使用するブラウザはMicrosoft EdgeもしくはGoogle Chromeとする。（セキュリティの面からActive XやJAVAアプレット等、クライアントの実行ファイルを必要とする機能は利用不可とする。）	高			
3	システム要件	データ保全の観点から、前日のデータバックアップの結果が確認できること。				
4	システム要件	複数職員が同時接続を可能とし、データ単位に排他処理を行うことが可能であること。				
5	検索、CSV出力	基本情報だけでなく、全ての経過記録やシステムに添付しているエクセルやワード内に記載されている文字も含めて全文からフリーワード検索できること。	高			
6	検索、CSV出力	児童の年齢や福祉サービスの受給状況などから複合検索でき、検索結果をCSV、Exce l等で出力できること。CSV、Exce l等出力時は、出力項目を任意に指定可能、且つ項目の指定内容が保存できること。	高			
7	検索、CSV出力	児童の情報や相談内容だけでなく、経過記録やショートステイ、一時保護、施設入所の履歴もCSV出力できること。	高			
8	住基連携	住民基本台帳との連携を行い、一度に児童と家族の基本情報の連携ができること。	高			
9	住基連携	住民基本台帳に異動があった場合、自動的に画面に通知されること。また、異動内容の詳細が確認できること。全件連携であっても同様に異動通知がされること。	高			
10	児童情報	氏名（漢字）の入力を行うと、氏名（カナ）が自動で登録されること。				
11	児童情報	生年月日を入力すると自動的に現在の年齢と学年が表示ができること。また、生年月日のあいまい入力ができること。				
12	児童情報	児童氏名（カナ）と生年月日が同じ児童データが登録されている際は自動的にチェックし注意を促すこと。				
13	児童情報	相談対象児童・保護者の「氏名」「住所」「生年月日」「続柄」等の情報を登録できること。				
14	児童情報	特定妊婦の「氏名」「住所」「生年月日」「続柄」等の情報を登録できること。				
15	児童情報	家族情報は 共用できるものは児童情報から引用して登録できること。				
16	児童情報	家族のうち、ケースに関わりの強い順に並べる等、任意に並び順を設定できること。				
17	児童情報	児童の氏名が不明や匿名でも登録できること。				
18	児童情報	通告などで児童の性別や年齢が不明の状態でも一旦登録できること。但し、統計帳票出力時にはチェックを行うこと。				
19	児童情報	児童、家族の住所、電話番号は3カ所まで登録できること。				
20	児童情報	ジェノグラム作成機能と帳票の家族構成図欄への自動貼り付けの機能を有すること。また、きょうだいへコピーできること。	高			

21	児童情報	所属ごとの児童を一覧で確認でき印刷できること。				
22	児童情報	児童の出欠状況や発育状況をシステムの画面内で自動的にグラフ化できること。				
23	児童情報	異動等が発生した場合、児童情報の変更履歴が自動作成できること。				
24	児童情報	居所不明児童の管理と検索ができること。				
25	児童情報	こども家庭庁「こどもの福祉と健康に関する状況報告」にしたがった相談受付（相談経路）、相談内容（種別）、対応（処理内容）に関する情報の登録ができること。	高			
26	虐待情報	通告の場合は、通告者の情報および初期対応の情報の登録ができること。				
27	虐待・相談情報	経過記録を共有する任意のきょうだいのケースを複数選択し、経過記録をコピーできること。				
28	虐待・相談情報	複数のファイル添付と添付したファイルにメモ書きができる機能を有すること。				
29	虐待・相談情報	画像ファイルは常にサムネイル（縮小）表示されており視認性が高いこと。				
30	虐待・相談情報	児童のショートステイ、一時保護、施設入所情報を時系列に管理できること。				
31	虐待・相談情報	ケース情報をきょうだい等、他の任意の児童へコピーまたは移動できること。				
32	虐待・相談情報	住民票発行制限が掛かっている世帯かどうか管理できること。住民票発行制限の場合、ケース進行管理表とケース会議票およびCSVデータに住所は出力されないこと。	高			
33	ケース情報	相談記録の入力文字数が2,000文字以上であること。また、入力フォームが大きくて見やすいこと。				
34	ケース情報	業務に不慣れな者でも分かり易くするために、主訴、状況等の入力欄に入力すべき内容をヘルプで表示できること。				
35	会議情報	ケースに関して行われた受理会議やケース会議を時系列に管理できること。				
36	会議情報	会議の出席者（外部機関の出席者も含む）の管理ができること。また、会議開催の予定が出席者のスケジュールに反映されること。				
37	帳票	児童記録票、ケース会議票はジェノグラム付きで出力できること。	高			
38	帳票	アセスメントシートの様式は職員（管理者）が任意に差し替えることができること。				
39	帳票	対象児童に関わる過去全てのケース（終結済みも含む）の経過記録を時系列に出力できること。				
40	帳票	経過記録の概要一覧および詳細内容の出力ができること。	高			
41	帳票	ケースに関連する経過記録および会議情報、一時保護情報を時系列に出力できること。				
42	帳票	本年度終結予定（本年度18歳到達も含む）の児童の一覧表を出力できること。				
43	帳票	相談種別ごとに各行動区分の延べ関わり回数や会議回数を担当者ごとや全体として集計し、月報出力できること。				
44	帳票	システムから出力される全ての帳票へ自由に文字の追記、編集、図の挿入が行えること。				
45	児童相談統計	こども家庭庁「こどもの福祉と健康に関する状況報告」に従った統計帳票（第1,2,4,5表及び第8表）およびその内訳明細（児童名、ケース番号等）を出力できること。	高			

46	システム管理	ユーザーID、パスワードによる認証ができ、ユーザーは自分自身のパスワードを変更できること。パスワードはDB内でも暗号化して保存されていること。	高			
47	システム管理	管理者はユーザーの追加、変更、論理削除及び権限の設定が行えること。 (ユーザー情報は過去履歴保全の観点から物理削除しないこと)				
48	システム管理	ユーザーID毎に利用開始日～終了日の設定ができること。	高			
49	システム管理	元号、改元日等をマスター管理でき、今後の改元時にも対応できること。	高			
50	システム管理	ケース担当者の変更時に一括で担当者の変更ができること。	高			
51	システム管理	年度変わりに自動的に学年の進級処理ができること。また、校区設定により小学校から校区の中学校へ進学させることも可能なこと。				
52	システム管理	必要に応じ出力帳票のレイアウトを職員自身が簡易な操作で変更できること。				
53	システム管理	児童情報やケース情報画面に新たな管理項目を任意に追加できること。新たな管理項目は、テキスト入力型、日付型、プルダウン型、チェックボックス型から選択して設定できること。	高			
54	システム管理	管理者メニューから操作ログの出力が簡便に行えること。				
55	システム管理	厚生労働省が構築している「要保護児童等に関する情報共有システム」へアップロードするCSVファイルの出力ができること。	高			
56	システム管理	厚生労働省が構築している「要保護児童等に関する情報共有システム」にて採番された対象者番号を取り込むことができること。	高			